

原爆体験記

—ヒロシマ原点の記録—

期間 平成28年1月1日(金)～12月28日(水)

時間 12月～2月 8:30～17:00 / 3月～11月 8:30～18:00 8月～19:00(5日、6日～20:00)

会場 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 情報展示コーナー(地下1階)

入場無料

被爆から五年後の一九五〇年

広島市は、核兵器のない

平和な世界を築こうと

初めて市民から原爆体験記を募集し

多数の応募がありました

まとめられた「原爆体験記」は

国の内外に広く配布し

原爆の悲惨さを訴えるはずでした

日本はまだ占領下であり

朝鮮戦争の勃発による東西冷戦の激化を受け

八月六日の平和祭はGHQの指示で

直前に中止となり

「原爆体験記」も広く配布されず

倉庫に眠ったままとなりました

被爆わずか五年後に書かれた

ヒロシマ原点の記録

生々しい記憶を基に記された体験記から

戦争や原爆の悲惨さ、平和への思いを伝えます



「原爆体験記」昭和25年(1950年)
広島平和協会

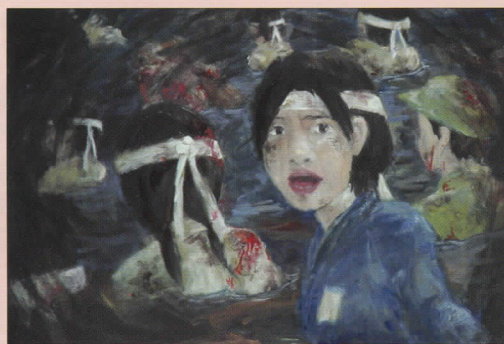


広島市が募集した原爆体験記の原稿
所蔵：広島市公文書館

中前妙子さんの被爆体験記より

(被爆時年齢 15歳 進徳高等女学校3年生)

とうとう火も身近に迫って来此処も危険と云う事になり、対岸の比治山へ皆んな避難しました。が、たった一つの頼みである鶴見橋が燃え出した。(中略)ぐずぐずしては居られない。皆我こそと川へ飛び込んで逃げ出した。傷がひどいから川へ入ったらいけないと周囲の人が止められるけれど、今はもう躊躇出来ない。脇田先生に手を持って載って泳ぐ事になった。以前あれ程、水には恐れなかった私が、途中まで行くと、息切れがし、手足は硬直し苦しくなる一方である。こんなに苦しい目に会うのだったら一そ死んだ方がとうつらうつらしていると、先生がその度に励まして下さった。お陰で、川中まで行く事が出来、そこで船の人に助けて貰い、比治山の救護所へ連れて行って貰った。



「次世代と描く原爆の絵」より
証言者 寺前(旧姓:中前)妙子氏 / 橋田みゆき氏 絵
「先生の支え」 / 広島平和記念資料館 所蔵

戸田幸一さんの被爆体験記より

(被爆時年齢 33歳 歯科医師)



広島平和記念資料館 所蔵

三日目からは、二十名位の医師、歯科医師、が出動して来て、やっと陣容が整って来た。それでも医者が足りない。衛生材料が無い。薬品が無いの三拍子揃ひである。着物を裂いて繃帯を作る。食油の調達。(中略)強心剤が無い、リングルがない。アナカやら、生理的食塩水で注射液を作り、五日目頃から使用し始めた。これでもやらないより良い。油を塗る一点張りよりも、赤ちん一点張りよりも、患者に与へる心理的影響は絶大なものがあつた。食事する暇が無い位忙しい、夜間廻診する時は大変だ、灯火管制で困難を極めた。かなはぬ時の神頼とか。病者に医者はキリスト様だ。自分はこの時位、医者と云ふ天職に感激した事はない。よしやるぞ。

小川春藏さんの被爆体験記より

(被爆時年齢 32歳 東洋工業兵器部)

自分も拾つて来たスコップを手に焼跡へたつ。一掘毎に火が吹き出して来る。ズツク靴の底が熱い、小さい置時計が転り出る、焼けたゞれてはいるけれど大体の形はなしてゐる。長針短針もそのまゝに丁度八時三十分辺りを指している。我が家は此の時刻頃灰燼に帰したのであらう。あちこちと掘る中に遂に白骨を発見す。何んの印もなけれど正しく逸枝の遺骨に相違はあるまい。涙と汗が白骨の上に音をたて、落ちて行く。



小川春藏氏 寄贈 / 広島平和記念資料館 所蔵

※上記3編の体験記は昭和25年(1950年)に書かれたものです。かなづかいやおくりがな等、現在の用法と異なる場合がありますが、原則、原文のまま掲載しています。

開館時間 12月~2月 8:30~17:00
3月~11月 8:30~18:00
(8月~19:00 5日・6日~20:00)

休館日 年末年始(平成28年は1月1日から開館します)

入館料 無料

交通案内 JR広島駅(南口)から約20分
・バス/広島バス吉島方面行で「本通り」または「平和記念公園」下車
・市内電車/紙屋町経由広島港(宇品)行で「本通」下車
宮島口・西広島・江波行で「原爆ドーム前」下車

駐車場はありません



お問い合わせ先

国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 〒730-0811 広島市中区中島町1番6号 TEL 082-543-6271 FAX 082-543-6273
ホームページ <http://www.hiro-tsuitokinenkan.go.jp/>

当館では、被爆体験記と原爆死没者のお名前・遺影を収集し、公開しています。企画展では、被爆体験記を中心に、当時の写真、関連する資料などを展示し、特定のテーマから被爆の実相に迫ります。被爆体験記や原爆死没者のお名前・遺影をお寄せください。皆さまのご協力をお願いいたします。